

ラテックスアレルギーの問題解決とゴム薬の新展開！

第243回ゴム技術シンポジウム

医用・衛生用ゴムおよびゴム薬の衛生問題

主催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 衛生問題研究分科会

協賛：日本ゴム工業会，日本化学会，塩ビ食品衛生協議会，ポリオレフィン等衛生協議会

(予定) 塩化ビニリデン衛生協議会，繊維学会，マテリアルライフ学会，日本レオロジー学会，日本グローブ工業会，日本調理用手袋協会（順不同）

ゴム製品は人体に触れる機会が多く，衛生問題を理解しながら使用することが望まれる．一方で衛生問題を解決し，安心してゴム製品を使用できる環境づくりが企業には求められている．本シンポジウムでは，医用・衛生用ゴムで問題となっているラテックスアレルギーの問題解決策およびゴム薬の新展開に関する最新の技術・研究成果を紹介する．

日時：2018年2月27日（火）9：50～17：05

場所：東部ビル5階会議室（東京都港区元赤坂1-5-26）TEL 03-3401-2957

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員 23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます．

シニア制度対象会員 11,880円（60歳以上の正会員）会員外 32,400円

受講料には，消費税・テキスト代を含みます．

申込方法：弊会ホームページ<http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください．（定員50名）

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）．振込み手数料は受講者側でご負担ください．一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください．

開催日までにお振込ください．

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第243回ゴム技術シンポジウム係

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03-3401-2957 FAX 03-3401-4143 E-mail：kenkyuubukai@srij.or.jp

	演 題	講 師・座 長
9：50～10：00	開会のあいさつ	衛生問題研究分科会主査 河原 成元 【座長】GCPジャパン(株) 林 茂毅
10：00～11：00	ゴム・高分子によるアレルギーと検出法 ゴム・高分子との接触により誘発されるアレルギーの発生機序と検出法について概説する．	(一財)化学物質評価研究機構 武吉 正博氏
11：00～12：00	天然ゴムのラテックスアレルギー問題と解決策 天然ゴムにおけるラテックスアレルギーおよびその原因を示し，解決策を論じる．	長岡技術科学大学 河原 成元氏 【座長】東京工業高等専門学校 山本 祥正 豊田工業大学 岡本 正巳氏
12：50～13：50	ラテックスナノ粒子の細胞毒性と生体組織工学への応用 ラテックスの生体組織工学への応用について研究しています．	住友ゴム工業(株) 高井 淳氏
13：50～14：50	脱タンパク天然ゴムラテックスの工業的生産と市場の状況 酵素+遠心分離法による脱タンパク天然ゴムラテックスの工業的生産方法と，市場ニーズのトレンドについて紹介する．	【座長】元・住友ゴム工業(株) 岩田 幸一 東京工業大学 高田十志和氏
15：00～16：00	架橋高分子を強靱化するロタキサン架橋剤 ビニルモノマーのラジカル重合系や不飽和結合含有ポリマーへ添加されたロタキサン架橋剤は，共有結合型架橋剤に比べて格段に優れた靱性を賦与できることを紹介する．	大内新興化学工業(株) 有我 望氏
16：00～17：00	有機系ゴム薬品の衛生問題；現状と今後の課題 ゴム薬品による環境や人体に与える影響の現状とその対応（含新規ゴム薬品の動向）について述べる．	衛生問題研究分科会副主査 岩田 幸一
17：00～17：05	閉会のあいさつ	

※プログラムは一部変更になる場合がございます．

☆お申込みはホームページ<http://www.srij.or.jp/>からお願いします．